

白布ヶ丘だより

10月

…学校と家庭・地域の架け橋…

発行 栃木県立真岡高等学校

〒321-4331 栃木県真岡市白布ヶ丘24番地1

TEL 0285-82-3413 FAX 0285-82-2913

毎号月初めに発行している「白布ヶ丘だより」ですが、今回は諸般の事情で遅くなってしまい申し訳ありませんでした。さて、朝晩の涼しさが本格的な秋らしさを感じさせる季節となってきました。ただ、寒暖の差が大きい時期でもありますので体調管理には十分ご注意ください。

2学期も順調にスタート、校内合唱コンクール・中間テスト・修学旅行も無事終了しました。また、受験本番が目前となった3年生は、これまで以上に授業に取り組む姿勢が真剣となり、顔つきも凛々しく、頼もしく感じられるようになってきました。

努力の成果が大きく実ることを期待しています。

センター試験の出願開始

～今年の現役生の出願率は約92%～

10月1日（水）から大学入試センター試験の出願受付が開始され、本校からは240名が出願した。出願率は92.1%である。センター試験は国公立大学を受験する場合に必要なが、私立大学でもセンター試験を利用した入試を実施する大学が昨年より19大学増加して、484校（全私大数570校の84.9%）となった。センター試験関係の主な日程は以下の通りである。

出願 10月1日（水）～10月14日（火）
 （※高校生の出願は学校を通しての一括出願となります。）
 確認はがきの送付 10月下旬～11月上旬
 （登録内容の確認）
 受験票等の送付 12月上旬～中旬
 （受験票・写真票へ写真貼付）
センター試験 平成21年1月17日（土）
18日（日）

自己採点 1月19日（月）
 平均点等の中間発表 1月21日（木）
 得点調整有無の発表 1月23日（金）
 平均点等の最終発表 2月5日（木）
 成績開示 4月16日（木）以降

なお、センタ試験は、24年度入試（現在の中3が受験する入試）から地歴と公民が統合され地歴2科目の選択が可能になる。これにより、現在はない世界史・日本史2科目をセンター試験で課す大学が出てくるものと予想される。また、理科もグループ制を廃止され科目選択が柔軟となる。

また、22年度入試（現高2が受験）からは過去のセンター試験や大学個別試験で使用された素材文や教科書に掲載された文章であってもセンター試験に使用できるようになるが、一部からは公平性に欠けるのではないかと懸念も出ている。

このような動きに対して、「**生徒の可能性を最大限に引き出し、進路希望（第一志望）を実現させる。**」ことを大きな目標としている本校としては、より適切な指導ができるよう、課題の研究と・対応に努めています。

クラス全員で作る一つの作品 第30回校内合唱コンクール

クラス全員が一丸となって作り上げ、競い合う、第30回校内合唱コンクールが9月24日（水）真岡市民会館大ホールを会場として開催されました。この日のために、昼休みや放課後等を利用して熱心に練習した成果がありレベルの高い戦いになったと思います。

接戦の結果、3年5組が夏季体育大会に続いての優勝となりました。

例年、会場の収容数関係で保護者席が少なく申し訳なく思っております。今回もかなりの高倍率となってしまいました。

男子高校は全国でも約200校、うち公立高校は20校程度です。そんな男子校の貴重な合唱コンクールですので、今後も続いていくことを願っています。最後になりましたが、外部審査員にお願いした、県教育委員会の市村博美先生と真岡女子高の川田明良先生には大変お世話になりました。



平成19年度合唱コンクール結果

順位	クラス	自由曲
1	3年5組	手紙
2	3年6組	君とみた海
3	3年1組	海の構図よりⅣ『神話の巨人』
4	3年2組	旅立ちの時
5	2年1組	空駆ける天馬
6	2年3組	明日に渡れ
指揮者賞	3年1組	根本啓介
伴奏者賞	3年6組	浅野達也

10月行事予定

- 1日(水) 更衣(上衣着用)
- 1日(水)
- ~3日(金) 2年中間テスト
- 3日(金)
- ~5日(日) 関東高校登山大会(日光市)
- 5日(日) 東関東マーチングコンテスト
(茨城県ひたちなか市)
- 7日(火) 2年修学旅行
- ~10日(金)(広島・大阪・京都方面)
- 8日(水)
- ~10日(金) 1・3年中間テスト
- 9日(木) PTA大学視察研修旅行(東北大)
- 16日(木) 小論文テスト(1年)
- 奉仕作業(2年)
- 16日(木)
- ~17日(金) 栃高P連 PTAスクール
- 18日(土) サタデーセミナー
- 3年進研記述模試
- 18日(土) 県総合文化祭演劇研究大会
- ~19日(日)(芳賀・下都賀ブロック)
- 23日(木) 2年進学講演会
- 25日(土) 3年全統記述模試
- 新人弓道大会
- 下野杯ソフトテニス大会
- 25日(土) ~27日(月)
- 新人登山大会(安達太良山)
- 30日(木) 人権教育
- 第3回PTA理事会

106名が献血に協力

9月22日(月)本校で献血が行われた。例年行っているもので、本校では毎年多くの生徒が献血に協力してくれています。

近年、医療技術の進歩や高齢化社会の到来により血液需要が高まっていますが、まだ十分満たされない状況が続いているそうです。

今年も栃木県赤十字血液センターから献血車が来て、106名の生徒・職員が献血をしました。内訳は200^{ミリ}献者血が85名、400^{ミリ}献者血が13名、成分献者血が8名でした。

「文武両道賞」とは

本校では文武両道を奨励し、頑張ったクラスを褒賞するため、「文武両道賞」を設けて表彰しています。

文武両道賞は校内各種大会の成績の合計や読書感想文の提出率と受賞数、年間の出席率などを総合して、1位のクラスを表彰するものです。

具体的には、校内体育大会(夏季体育大会)、駅伝大会、マラソン大会、読書感想文、合唱コンクール、出席率のそれぞれに1~18の順位をつけ、得点化した合計点で競います。

真女高との合同読書会

9月17日(木)、第12回の「真高・真女高合同読書会」が真女高で開催された。会場は真高と真女高の交替で行っており、偶数回の今年には真女高であった。6限終了後、4時から開始の間に合うように向かったが、真女高の校門から中に入れない初々しい1年生もいた。

さて、読書会は4つの班に分かれ、夏休み前に配布されていたテキストと課題をもとに、それぞれの感想や意見を交換しあった。テキストは鷲沢萌著『葉桜の日』『角川文庫』で、出生にまつわる不安を抱えた主人公が危機を脱し穏やかな生を生きていこうとする小説である。課題は全部で6つであった。たとえば、『志賀さん』は、どうして19年間もジョージが自分の子どもであることを黙っていたのだろうか、「この本のタイトル『葉桜の日』とは、何を表しているのだろうか」などである。

3年生の読みの深さや、また女子独特な感覚の意見に驚きながら、あっという間に過ぎていった新鮮な1時間であった。

(図書館部長 栗田純一)



はしか(麻しん)・風しんの予防接種を

高校3年生に相当する年齢(平成2年4月2日~平成3年4月1日生)の人に、はしか(麻しん)・風しんの予防接種の案内がきています。

昨年、首都圏を中心にはしかが流行し、いくつかの大学が休校となる等ニュースとなりました。県内でも今年の4月に「はしか」のため休校となった高校があるなど、現在も流行の兆しがあります。

国では、はしかの流行を押さえるため今年の4月から中1と高3となる年齢の者にワクチンの追加接種をすることしましたが、接種率はまだまだ低いようです。

予防接種にあたっては居住する市町村が費用の一部または全部を助成する制度もあるようです。(詳しくは直接、お問い合わせください。)栃木県は高3の予防接種率90%を目指しています。冬休みを過ぎると、何かと忙しくなると思いますので、この時期、予防接種を検討されてはいかがでしょうか。